



多焦点（眼内）レンズ

白内障手術の際に、考えなくてはならないのが、眼内レンズの種類になります。「**多焦点レンズ**」という言葉も、友人や知り合いから聞いたという方もいらっしゃると思います。

【単焦点レンズ（保険内）】

焦点（裸眼で見える距離）が一点なので、術後に眼鏡が必要になることが多い。

【多焦点レンズ（保険外）】

焦点が二点もしくは三点になるので、眼鏡がなくても遠くも（中間距離も）近くも見える。

多焦点レンズは、**自費診療**になります。単焦点は保険内でカバーされます。多焦点レンズはその物理的な特性上、**ハローグレア**という見え方が

術後に出る場合があります。簡単に言ってしまうと、多焦点レンズは、それぞれのピントの位置で見えるが、100%クリアではなくて、少し滲んだような見え方で、単焦点レンズは、眼鏡なしで見える焦点は一つだけど、その部分はクリアに見える。



術前に十分に多焦点レンズの見え方を理解したうえで、選択していただければ、眼鏡がなくてもある程度見えるため、納得いただけると思います。そのためには普段の生活習慣や、テレビが見たいとか、読書がしたいとか、**具体的な希望を伝える**ことで、術後の見え方に合ったレンズを選択することができると思います。



当院では白内障手術は全例紹介状を作成しておりますが、その際に「多焦点レンズ」を検討したいのかどうかで紹介先が変わります。院長にお気軽にご相談ください。